

姫路市一般廃棄物処理基本計画見直しに関する事業者アンケートへのご協力のお願い(案)

事業者の皆様には、日頃から本市の廃棄物行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、ごみを適正に処理するため、ごみの減量化・資源化及びごみの発生から最終処分に至るまでの基本的事項を定めた「姫路市一般廃棄物処理基本計画（平成30年3月）」の策定から5年が経過することから、この基本計画の見直しを進めています。

本計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「姫路市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」の規定により、本市の一般廃棄物処理に関する事項を定め、長期的、総合的視点に立って計画的にごみ処理の推進を図るための基本方針となるものです。

今回、本計画の見直しにあたり、事業者の皆様のごみの減量化・資源化への取り組み状況、意見等を踏まえ、施策の立案・改廃を検討したいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解頂き、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

アンケートについて

- できるだけ事業所の責任者の方がお答えください。
- 市内の500事業所を無作為に抽出しています。
- アンケートは統計的に処理いたします。他の目的での利用や個人を特定した内容を外部に漏らすことは一切ありません。
- ご記入いただいたアンケートは、〇月〇日(〇)までに、同封されている返信用封筒に入れて郵送（切手不要）して頂くようお願い致します。

お問い合わせ先

姫路市環境局 美化部 美化業務課 美化事業対策室
電 話：079-221-2409
ファックス：079-221-2408

事業者アンケート

※ 回答は本アンケート用紙に直接ご記入ください。

問1 貴社及び記入者に関する情報をご記入ください。

所在地：

貴社名：

業 種：

ご担当者名：部署

氏名

連絡先： ()

問2 貴社の従業員数（パート、アルバイト等を含む。）は何人ですか。（1つだけ選択してください）

- 1 1～4人
- 2 5～9人
- 3 10～19人
- 4 20～29人
- 5 30～49人
- 6 50～99人
- 7 100～199人
- 8 200～299人
- 9 300人以上

問3 貴社における、環境対策やごみの減量化・資源化のための取り組みについてお聞かせください。
（1つだけ選択してください）

- 1 積極的に取り組んでいる
- 2 ある程度取り組んでいる
- 3 あまり取り組んでいない
- 4 全く取り組んでいない

問4 問3で「1」、「2」と回答された方にお聞きします。貴社がごみの減量化・資源化に取り組んでいる理由は何ですか。(2つまで選択可能)

- 1 ごみの減量化に寄与したいため
- 2 資源の有効利用が大切だと思うため
- 3 企業イメージアップのため
- 4 ルールで定められているため
- 5 ごみ処理経費を抑えたいため
- 6 その他 ()

問5 問3で「1」、「2」と回答された方にお聞きします。貴社が行っている取り組みは具体的に何ですか。(当てはまるもの全て選択してください)

- 1 ごみの減量化・資源化等の計画・マニュアル等の作成
- 2 ごみの減量化・資源化に関する社内教育・研修の実施
- 3 書類・資料のペーパーレス化
- 4 包装廃棄物の抑制(過剰包装の自粛、簡易包装の推奨、納入業者への依頼)
- 5 再生品・再生紙の利用促進
- 6 金属類や古紙類等の資源化
- 7 リース品等の活用
- 8 その他 ()

問6 問3で「3」、「4」と回答された方にお聞きします。貴社がごみの減量化・資源化に取り組んでいない理由は何ですか。(2つまで選択可能)

- 1 事業活動の効率性が失われるため
- 2 手間がかかるから
- 3 費用がかかるから
- 4 取り組みの効果が期待できないから
- 5 ノウハウや知識がないから
- 6 その他 ()

問7 貴社において、ごみの減量化や資源化を進めるうえで課題と感じていることは何ですか。
(2つまで選択可能)

- 1 具体的なごみの減量化や資源化の方法がわからない
- 2 どのような効果が期待できるかわからない
- 3 人手、手間が負担が増える
- 4 経費負担が増える
- 5 社内での研修・教育の方法がわからない
- 6 機密書類が多く、リサイクルが難しい
- 7 特に課題はない
- 8 その他 ()

問8 貴社において、排出量が多いごみは何ですか。
(重量を把握していない場合は、推定で構いません)

- 1 ダンボール
- 2 雑誌・パンフレット
- 3 新聞紙
- 4 コピー・OA用紙
- 5 シュレッダー紙
- 6 紙くず
- 7 調理くず
- 8 賞味期限切れ・品質保持期限切れ食品
- 9 残飯・茶殻等の生ごみ
- 10 木くず・剪定くず
- 11 ペットボトル
- 12 プラスチック類
- 13 その他 ()

問9 貴社において、次の品目の処理方法について該当するものに○を付けてください。

別紙（最後のページで回答してください。）

問10 ごみの減量化・資源化に関して、どのような情報を知りたいですか。（2つまで選択可能）

- 1 収集運搬、処理の許可業者について
- 2 業種別の事業所でできる減量化・リサイクル方法
- 3 ごみの分別方法
- 4 他の事業者で取り組みされている事例
- 5 ごみ処理に関する問い合わせ先や相談窓口
- 6 その他（ ）

問11 今後、ごみの減量や資源化を進めるために有効な施策は何だと思えますか。
（3つまで選択可能）

- 1 業種別のごみ減量・リサイクルに関するマニュアルの提供
- 2 ごみ減量・リサイクル手法の事例紹介
- 3 収集運搬業者、リサイクル業者に関する情報提供
- 4 優良事業所の紹介や表彰
- 5 情報交換や取組の意見交換ができる場の提供
- 6 事業者に対するごみ減量・リサイクルの啓発・指導
- 7 ルールを遵守していない事業者への指導強化
- 8 収集運搬業者への指導
- 9 事業者を対象とした廃棄物処理の講習会の開催
- 10 ごみ処理手数料の値上げ
- 11 社内研修などによる従業員の意識向上
- 12 その他（ ）

問 15 問 14 で「1」、「2」を回答された方にお聞きします。具体的にどのような活動に参加（利用）されましたか。（当てはまるもの全て選択してください）

- 1 フードドライブ
（家庭で余剰となっている賞味・消費期限が到来していない食材を集め生活困窮者に配布する活動）
- 2 手前どり
（食品ロスを発生させないように賞味・消費期限が近い商品から買っていただく消費行動）
- 3 マッチングアプリ「うってこ かってこ by タベスケ」
（食品小売店から発生する食品ロスを減らすため賞味・消費期限が近付いている商品や規格外品などを安価で販売する情報を発信するサービス）
- 4 もったいない運動推進店登録制度
（飲食店等で小盛りメニューの設定や食べ残し料理の利用者からの持ち帰り要望があった場合の状況に応じた対応などに取り組む店舗、事業者の登録を行うことにより、取り組みを推進し、また、取り組みを促すことで食品ロスの削減を目指していく）
- 5 その他（ ）

問 16 問 14 で「3」、「4」を回答された方にお聞きします。活動に参加（利用）できていない理由は何ですか。（1つだけ選択してください）

- 1 具体的な内容をよく知らないため
- 2 利用してどのような効果があるのかわからないため
- 3 利用したいと考えているが、やり方がわからないため
- 4 興味関心がないため
- 5 その他（ ）

問 17 貴社で食品ロスが発生するのは、どのようなことが原因ですか。（2つまで選択可能）

- 1 賞味期限が切れてしまったため
- 2 消費期限が切れてしまったため
- 3 食品がいたんでしまったため
- 4 食材を仕入れすぎたため
- 5 その他（ ）
- 6 食品ロスは発生していない

問 18 問 17 で「6」以外を回答された方にお聞きします。貴社で食品ロスを減らすために取り組んでいることはありますか。(3 つまで選択可能)

- 1 食品の仕入れを最適化する
- 2 在庫管理を徹底する
- 3 フードバンクやフードドライブなどへの寄付
- 4 姫路市食品ロス削減マッチングサービスの活用
- 5 調理（生産）くずを減らすための調理（方法）の改善
- 6 売れ残りを出さない商品開発
- 7 小ロットの製造
- 8 少量販売
- 9 賞味期限の迫った商品の特価販売
- 10 その他（）
- 11 取り組んでいることはない

問9 それぞれの品目につき、当てはまるもの全てに○を記載してください。

品目	1 発生しない	2 廃棄物処理許可業者に委託	3 自社で処理施設に持込	4 自社内で処理	5 有価で業者に売却	6 無償で業者が引き取り	7 排出されない	8 分らない	9 その他（具体的に）
① ダンボール									()
② 雑誌・パンフレット									()
③ 新聞紙									()
④ コピー・OA用紙									()
⑤ シュレッダー紙									()
⑥ 紙くず									()
⑦ 残飯・茶殻等の生ごみ									()
⑧ 木くず・剪定くず									()
⑨ ペットボトル									()
⑩ プラスチック類									()